

大阪開催

諸領域における心理支援の知識と課題

一般財団法人日本心理研修センター主催

一般財団法人日本心理研修センターは本年度設立 2 年目となります。心理職の資質の向上及び協働させていただく諸職種の皆さまとの連携を視野に、昨年に引き続き大阪で心理支援の知識と課題をテーマに研修会を開催いたします。

【開催日】 その 1：平成 26 年 10 月 12 日（日）9:30～16:30（9:00 開場予定）

その 2：平成 26 年 10 月 13 日（月・祝）9:30～16:30（9:00 開場予定）

【会場】 大阪人間科学大学庄屋学舎（その 1、その 2 とも）

〒566-0012 大阪府摂津市庄屋 1-12-13、JR 京都線「岸辺」から徒歩 10 分、阪急京都線「正雀」から徒歩 5 分

【定員】 合計 約 900 名

【参加費】 1 講座 7,000 円

【参加資格】 臨床心理士、臨床発達心理士、学校心理士、特別支援教育士、他の心理系学会認定資格者、心理職実務者、守秘義務のある専門職、心理学関連大学院生

【申し込み予約】 一般財団法人日本心理研修センターホームページより (<http://shinri-kenshu.jp/>)

【共催】 一般社団法人日本臨床心理士会、日本臨床発達心理士会、日本学校心理士会、一般財団法人特別支援教育士資格認定協会

【後援】 日本行動療法学会、日本発達心理学会、日本人間性心理学会、一般社団法人日本心理臨床学会、一般社団法人東京臨床心理士会、一般社団法人日本発達障害ネットワーク（予定）

<その 1：10 月 12 日（日）>

●プログラム第 1) 「司法・矯正領域における心理職の役割と課題」

9:30～16:30（途中休憩あり）

齊藤 文夫（武庫川女子大学文学部 心理・社会福祉学科）

●プログラム第 2) 「子どもを理解する—行動と心理の読み解き方—」

10:00～12:30 「応用行動分析を通して知る子どものふるまい」

日上 耕司（大阪人間科学大学 人間科学部社会福祉学科）

13:30～16:00 「認知行動をもとにした教育現場における新たなアプローチ：IES(Individual educational system)」

堤 俊彦（大阪人間科学大学人間科学部健康心理学科）

【司会】 大野 太郎（大阪人間科学大学 人間科学部健康心理学科）

●プログラム第 3) 「内観療法の基礎から応用まで(仮)」

9:30～12:00 「内観療法の歴史と意義」

13:00～16:30 「内観療法の体験」

真栄城 輝明（奈良女子大学生生活環境学部・大学院心理健康学科臨床心理学コース）(仮)

<その 2：10 月 13 日（月・祝）>

●プログラム第 4) 「自閉症児への発達論的アプローチの新動向（3）—心の理論の発達とその障害・支援—」

9:30～12:15 「心の理論」の発達とその意義(仮) 子安 増生(京都大学大学院 教育学研究科)

13:15～16:00 自閉症児における「心の理論」の障害と支援の課題(仮)

別府 哲(岐阜大学教育学部 学校教育講座(心理学))

16:00～16:30 ディスカッション「心の理論」研究と発達支援の課題（講師+参加者）

●プログラム第 5) 「自律訓練法の理論と実際」

10:00～16:00（途中休憩あり） 笠井 仁（静岡大学）

●プログラム第 6) 「両親の離婚に際しての子どもへの支援—面会交流・養育費と心理職—」

10:00～11:20 【行政の立場から】 泉 房穂（明石市長、弁護士、社会福祉士）

11:20～12:30 【心理職の立場から】 山口 恵美子（臨床心理士、(公社)家庭問題情報センター 常務理事）

13:30～14:50 【法律家の立場から】 佐野 みゆき（弁護士）

14:50～16:00 【研究者の立場から】 二宮 周平(立命館大学 法学部法学科)